

令和2年7月22日

東京都下水道サービス株式会社

嫌気・同時硝化脱窒処理技術が第46回優秀環境装置表彰にて 「経済産業大臣賞」を受賞しました

このたび、東京都下水道局、東京都下水道サービス株式会社、メタウォーター株式会社の3者が共同で開発した「嫌気・同時硝化脱窒処理技術」について「経済産業大臣賞」を受賞しました。

この処理法は下水処理において、従来の高度処理法と同等の水質を確保しつつ、電力使用量を削減でき、また、既存の躯体を活用できる点を高く評価されて今回の受賞に至りました。

「優秀環境装置の表彰事業」とは、1974（昭和49）年度から経済産業省（通商産業省）の後援を得て一般社団法人日本産業機械工業会が実施しており、環境保全技術の研究・開発及び優秀な環境装置の普及の促進を図ることを目的として実施されています。

嫌気・同時硝化脱窒処理法は、従来の嫌気無酸素好気法(A₂O法)などでは個別の槽内で行っていたアンモニアの硝化と硝酸及び亜硝酸の脱窒を、一つの槽内で行う処理法です。

平成23年度に開発を開始し、平成27年度に芝浦水再生センターに導入以降、葛西水再生センター、浅川水再生センター、八王子水再生センター等へ導入されています。

- ・嫌気・同時硝化脱窒処理技術の詳細は、下記ウェブサイトをご参照下さい。

<https://www.tgs-sw.co.jp/business/technical/c01/c36/>

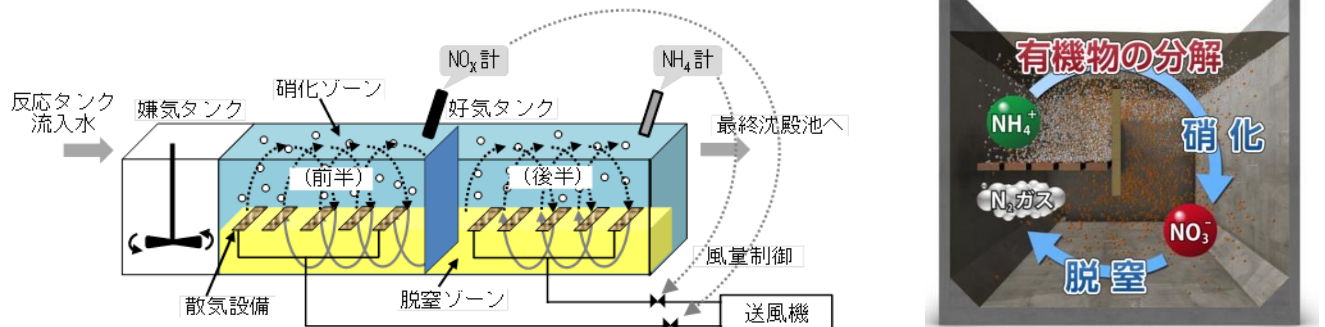


図 嫌気・同時硝化脱窒法（左：フロー図、右：断面図）

